略歷等

氏 名 白 石 勝己

所属・職位 公益財団法人アジア学生文化協会 理事長

■略 歴

1979 年 財団法人アジア学生文化協会入職

1980 年~1984 年 Technology Promotion Association (Thailand-Japan) 出向

1985 年~2013 年 財団法人アジア学生文化協会帰任 会館部 総務部

日本語コース事務長、留学生相談室長 歴任

2014年~2017年 財団法人アジア学生文化協会 理事・事務局長

2015 年~2019 年 早稲田大学国際学術院 •日本語教育研究科 非常勤講師

2018 年~ 公益財団法人 アジア学生文化協会 理事長

留学生日本語コース校長

■役員等

公益財団法人 西原育英文化事業団 理事

一般社団法人 日タイ経済協力会 理事

一般社団法人 日本百賢アジア研究院 理事

一般社団法人 国際教育研究コンソーシアム 理事

■専門委員等

アジア・リサーチフェロー・スカラーシップ選考委員(株式会社三菱総合研究所)2010年~2019年

文部科学省 住環境・就職支援等受入れ環境充実事業委員 2015 年~2018 年

文部科学省 留学生就職促進プロジェクト委員 2017 年~2019 年

文部科学省 日本留学海外拠点連携推進事業委員 2017 年~2019 年

■主な調査、研究等 実績

No	プロジェクト件名	対象国	クライアント等	担当業務 参画形態	従事期間
1	Look East Policy(東方政	マレーシア	マレーシア政府	留学生カウンセリング	2000 年~2007
	策)教育支援サービス		(人事院)	(三菱総合研究所JV)	年
2	キャンパス・グローバル	日本	国際教育交流協	共同研究	2000 年
	化を支えるシステム・組		議会(JAFSA)		
	織に関わる調査研究				
3	我が国と ASEAN の留学	ASEAN 諸国	外務省	ASEAN 留学生ニーズ	2003 年
	交流のあり方に関する研			調査(三菱総合研究	
	究			所JV)	

4	フレ ミフロオ世代士尚	マレーシア	外務省	- ブ囲木 コンカプ	2003 年
4	マレーシア日本技術大学	マレーシア	が務省	ニーズ調査、コンセプ	2003 T
	(MJTU)設立のための基			ト・財政分析(三菱総	
	礎調査			合研究所JV)	
5	海外高等教育調査	インド・ベトナム	日本学生支援機	海外高等教育調査、	2005 年
			構	留学ガイドブックの作	
				成	
6	海外教育機関調査	韓国	日本学生支援機	<u>海</u> 外教育機関調査、	2006 年
"	海 八	+4 🗀	│ はポテエス版版 │ 構	留学ガイドブックの作	2000 —
			1 111		
-				成	
7	留学交流の将来予測に	日本	文部科学省	留学生受入予測調査	2006 年
	関する調査研究			(共同研究)	
8	年間を通した外国人留学	日本	文部科学省	短期留学生受入れ調	2007 年
0		山本	人的符子自		2007 +
	生受入れの実態調査			査(共同研究)	
9	先進的留学生 活用事例	日本	財団法人 企業	留学生就職、就労状	2007 年
	調査		活力研究所	況調査	
10	中国における日本と諸外	日本•中国	明治大学	アンケート設計、集	2008 年~2009
	国への留学生送出し要			計、分析	年
	因の比較研究				
11	外国人学生の日本留学	マレーシア・タ	文部科学省	アンケート設計、集	2008 年~2009
''	へのニーズに関する調査	イ・中国・日本		計、分析(共同研究)	年
	研究				_
10		n ±	女 松 本 即 本 人 米	の光生のコトンコー	2000 年
12	留学生受入れWEBシス	日本	某教育関連企業	留学生受入れシステ	2009 年
	テムに関する調査研究費			ム調査研究	
13	全学的な国際化推進に	日本	日本学術振興会	調査表設計、集計、分	2009 年
'3	関する調査	 	口个子的派兴去	析(三菱総合研究所J	2003 4
	(対する)加重				
	I Windows I I - 프		VI 4 = 17 +	V)	
14	大学院留学生受入れ調	日本	独自調査	統括・全大学アンケー	2000 年~現在
	査			ト調査 Web データベ	
				一ス構築	
15	留学生奨学金調査	日本	独自調査	統括•留学生奨学金	2000 年~現在
				団体調査 Web データ	
				ベース構築	
16	大学学部留学生受入れ	日本	独自調査	統括・全大学アンケー	2000 年~現在
10		山 本	7.4.日砂县		2000 十一次红
	調査			ト調査 Web データベ	
<u> </u>	V = 1 22 45 22 1 24 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	14 E /: ··· · ·		一ス構築	
17	米国大学留学生獲得•選	米国(NY)	国際教育研究コ	留学生リクルーティン	2015 年
	考・EMの先進事例研修		ンソーシアム	グ、アドミッションマネ	
				ジメント等研修参加	
18	留学生受入れ支援方策	日本・フィリピ	文部科学省	代表•統括	2015 年
	の検討に関する調査研	ン・インドネシ			
	究	ア・ミャンマー・			
		ブラジル・ザン			
		ビア			
10	★洪·万/里並同唿歩	タイ・香港	国際教会理究中	コーデイナーター	2017 年
19	香港・タイ最新国際教育	ブ1 "	国際教育研究コ	コーティテーダー 	2017 年
L	交流事情研修		ンソーシアム		
20	日本における外国資格評	日本	大学改革支援•	代表·統括	2018 年
	価の需要等に関する調		学位授与機構		
	查		(NIAD)		
	4		\.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		